

## 野生動物のロードキル

Wildlife Roadkill in Japan: From Wildlife Management to Road Ecology

柳川 久／監修 塚田 英晴／編 園田 陽一／編 東京大学出版会 2023.1  
8,326p 22cm 480.9/ネ 31 2023.2.17 受入 定価 5,500 円＋税



### 目次

はじめに 柳川 久

序章 「ロードキルという悲劇」ーワイルドライフマネジメントの今日的課題 塚田英晴

第Ⅰ部 ロードキル問題とはなにか

第Ⅱ部 ロードキルに遭う動物たち

第Ⅲ部 ロードキルをどう防ぐか

終章 これからのロードキル問題ー道路生態学への応用 園田陽一

おわりに 塚田英晴・園田陽一

索引

執筆者一覧

### 内容紹介

「ロードキル」とは、道路上で起こる野生動物の事故死を指す言葉。エゾシカによる事故での車両保険金額の事例や、絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコへの対策、事故にあいやすい習性のケナガネズミ、SDGsにもつながるエコブリッジやアニマルパスウェイが作られたニホンヤマネの事例などが紹介されている。ほかに、世界各国のデータベース事例や、ロードキルを防ぐための対策についても展望。

### 図書館員のつぶやき

道路でたまに見かける悲しいできごと。こういった不運が一つでも減ることを願います。

### 関連書籍

#### 『野生動物の交通事故対策』

大泰司 紀之／[ほか]編著 北海道大学図書刊行会 1998.5

#### 『動物たちを救うアニマルパスウェイ』

湊 秋作／著 文研出版 2017.6

## 観音山丘陵の歴史探索 公園の魅力再発見

群馬県立観音山ファミリーパーク 2022.7 48p 30cm  
K242/+ネ 27 2022.11.9 受入 頒布価格 500 円 (税込)

### 目次

発刊に寄せて

第一章 太古の時代ー発掘された化石からー

第二章 古墳の時代と上野三碑

第三章 鎌倉街道を歩いてみる

第四章 寺尾城址

第五章 寺尾中城をめぐる主人公たち

第六章 館・光台寺のタバコ

第七章 亜炭の炭鉱ー働いていた人のインタビューからー

あとがき

### 内容紹介

県立都市公園のひとつ観音山ファミリーパーク。地域の歴史を刻み込んできた「里山」であることが特色だという。

本書では観音山丘陵の歴史にスポットを当て、「寺尾中城」や、タバコの産地として知られていたこと、「亜炭」の採掘が行われていたことなどについてわかりやすくまとめられている。写真・イラストも豊富で、難しい漢字には読み仮名もついている。

観音山丘陵が、自然観察だけでなく、古くから続く人々の歴史も感じる事ができる場所であることがわかる一冊。

### 図書館員のつぶやき

高崎がタバコの名産地だったとは！鍛冶平を「かじっぴら」と読むのが群馬っぽくていい。



### 〈観音山 豆知識〉

◇ 観音山というのは通称で、正式には岩野谷丘陵。標高は約 200～270m。

◇ 白衣観音は 1936 (昭和 11) 年に完成し、当時は世界最大の観音像だった。ウエストは 48m。

◇ 昭和の遊園地代表格「カッパピア」は「カッパ・ユートピア」の略で、名称は公募で決まった。

### 関連書籍

#### 『高崎観音山丘陵の野鳥と野生動物』

群馬県立観音山ファミリーパーク 2021.3

#### 『自然の森の草花』

ぐんま緑のインタープリター協会／著 群馬県立観音山ファミリーパーク 2019.4

#### 『自然の森の樹木』

ぐんま緑のインタープリター協会／著 群馬県立観音山ファミリーパーク 2017.4



県立図書館が新たに収集した資料をご紹介します「新収集資料抄」をリニューアルしました。「新収集資料抄」の「県立」ならではの収集資料を知っていただくという発行趣旨を引き継ぎつつ、内容やレイアウトを親しみやすいものに変更しました。県立図書館は、小説や実用書などの一般的な資料よりも、専門的な資料や通常の出版物ルートに乗らない郷土資料など、特定の利用者層や限定的なニーズを満たすような資料を収集する役割を担っています。「ニツチ」＝「すき間」というタイトルにその意図を込めてみました。

【群馬県立図書館】 〒371-0017 前橋市日吉町一丁目9-1 電話：027-231-3008

